



8・9月に市内で行われたイベントについてお知らせします

世界遺産フェス in 輪王寺



マルシェの飲食物を楽しむ来場者

8月6日(土)～11日(木・祝)に日光開山1250年を記念した「世界遺産フェスティバル in 日光山輪王寺」が輪王寺境内で開催されました。

このイベントは、市観光協会や交通事業者などを中心とした「世界遺産「日光の社寺」プロモーション委員会」が主催したもので、公募により出店した飲食店や雑貨店などでマルシェ(市場)が行われました。

マルシェには、地元の名産品をはじめ、焼きそばやラーメンの他、いちごのスムージーなどのスイーツ店も軒を並べ、買い求める人たちの長い列ができていました。また、会場の中央には特設ステージが設けられ、音楽の演奏やアトラクションなどで盛り上がりました。

最終日には、シンガーソングライターのおくはなこさんのライブが開催され、多くの来場者でにぎわっていました。



満席になったライブ会場

栃木県「山の日」制定記念フェスティバル

8月11日(木・祝)、今年から制定された祝日「山の日」を祝う「栃木県「山の日」制定記念フェスティバル」が日光だいや川公園で行われました。

特設ステージでは、県警音楽隊によるコンサートや栃木県出身のキーナ奏者「Ren」さんのキーナコンサート、タレントの金子貴俊さんのトークセッションなどが行われました。

公園内では、山の日にちなんだ食体験イベントや、アウトドアヨガ、山・森・水辺の生き物の観察会などの自然体験イベントが行われました。

木の枝から鉛筆を作る体験にお父さんと一緒に参加した大久保泰惺くん(4歳)は「この鉛筆で大好きな恐竜と魚の絵をいっぱい書きたい!」と元気に話してくれました。



県警音楽隊の演奏



お父さんと一緒に鉛筆作り体験

足尾納涼祭

8月13日(土)、毎年恒例の足尾納涼祭が足尾行政センター前で開催されました。この日は時折小雨の降る天気でしたが、集まった大勢の参加者たちは、足尾に古くから伝わる「直利音頭」に合わせた盆踊りなどで盛り上がりました。

横浜市から訪れた田村さんは「おばあちゃんの家が足尾にあるので来ました」と、家族で踊りを楽しんでいました。



踊りを楽しむ田村さん一家

小来川納涼盆踊り

8月14日(日)、小来川ふるさと交流館駐車場で小来川納涼盆踊りが行われました。午後6時～7時まで、小来川中学校の生徒たちが演奏をし、会場はにぎわいました。

愛媛県から帰省した横山明美さんは「久しぶりに地元に戻り、お祭りに参加できたことがとてもうれしいです。これからもずっと続いてほしいですね」と話してくれました。



演奏した地元中学生



### 今月の表紙

#### 日光水祭り



8月11日(木・祝)、大谷川グリーンパークで日光水祭りが行われました。これは、まちづくり団体である「まちづくり10課」が、日光の「水」をテーマに企画したものです。

当日は、市内から小学生や家族連れが大勢参加しました。また、このイベントには今市工業高等学校の生徒も参加し、水鉄砲の作り方教室が開かれました。参加者たちは自分だけの水鉄砲を熱心に作成し、自分で作った水鉄砲で的あてゲームやチームに分かれての水掛けゲームなどを行い楽しみました。

また、消防自動車による放水イベントも行われ、子どもも大人も全身ずぶ濡れになりながら楽しんでいました。



特大カブトムシが登場

子ども夏祭り「縁日で遊ぼう」が開催されました。「図書館ボランティアかたくり」が、飾りつけや縁日の商品を手作りし、その精巧さに子どもたちは驚いていました。

また、影絵遊びでは最後に50センチ以上の手作りのカブトムシが登場しました。本物そっくりに作られた大きなカブトムシに会場からは歓声が上がっていました。



日光橋を渡る参加者

9月3日(土)・4日(日)の2日間、日光・今市地域で日光開山1250年記念第17回日光ツデーウォークが開催され、北は北海道、南は鹿児島県から延べ1,599人が参加しました。

2日間とも天候にも恵まれ、初日はギネスブック「日光杉並木」コース、2日目は世界遺産「日光の社寺」コースにチャレンジ。残暑厳しい日光路をそれぞれに楽しみました。

### 子ども夏祭り

### 日光ツデーウォーク

### 産業遺産見学会



足尾事業所の職員の説明

9月1日(木)、国登録有形文化財に指定されている古河掛水クラブで、産業遺産見学会が開催されました。産業遺産見学会は今年で13回目の開催となり、以前は年に2回開催されていましたが、今年から年1回になりました。当日の参加者の人数は27名で、参加者は足尾事業所の職員の説明を聞きとても興味がある様子で楽しんで見学をしていました。



参加者へのインタビュー

東京都から参加した秋谷<sup>あきや</sup>さんと宮下<sup>みやした</sup>さんに話を聞いたところ、秋谷さんは、足尾出身で本山に14歳まで住んでいて「久々に来て懐かしさがある」と満足そうな笑顔で見学会を楽しんでいました。

宮下さんは、「見学会には今まで参加したことがなく、興味があったので来ました」と、産業遺産を見て感動している様子で笑顔で話してくれました。

※産業遺産見学会の記事および写真(上段)は、職業体験学習(マイチャレンジ)で広報紙編集を体験した、大沢中学校2年生の山崎美和さんによるものです。